

③-1 相談援助面接研修（記録編）基礎コース

～明日から活用できる福祉職の「記録」の基礎を学ぼう～

【オンライン研修】

(1) 目的

相談援助職や介護職に必要な「記録」の基礎的な考え方や方法を学ぶ。

(2) 日程

令和3年6月16日（水） 【1日間】

(3) 受講対象

介護業務や相談援助業務等に1年以上従事している者。
介護記録や相談記録の基本的な書き方を身に着けたい者。

(4) 定員 30名

(5) 参加負担金 2,000円

※オンライン受講の方は事前振込をいただきます。（請求書等は別途送付します。）
※テキストとして研修講師著書を別途ご購入いただきます。（受講決定通知と併せてご案内します。）

(6) 受講方法について

本研修はZoomを利用したオンライン研修として実施しますが、自宅・職場等でインターネット環境の準備が難しい方は会場での受講も可能です。

受講決定通知にて受講方法（オンライン受講又は会場受講）を伺いますのでお含みおきください。

(7) プログラム

基礎コース 1日間		
9:30～9:50	受付・入室	
9:50～10:00	オリエンテーション	
10:00～12:00	講義Ⅰ『対人援助職に求められる記録とは』	福島県立医科大学 放射線医学県民 健康管理センター 特任准教授 八木 亜紀子 氏
12:00～13:00	— 昼食・休憩 —	
13:00～17:00 (途中休憩あり)	演習Ⅰ『SOAPで表現する』 ～Subjective Objective Assessment Plan～	

※プログラムは講師との調整により、一部変更する場合がありますのでご了承ください。

※SOAPとは…情報をS(Subjective (主観的情報)、O(Objective (客観的情報)、A(Assessment (アセスメント、見立て)、P(plan (支援計画))に整理して記録する、記録形式の1つ。頭文字をとってSOAPという。